

1 水はどこから

(1) 水のあるくらし

学校のじゃ口がどこにあり、どんなこと^{つか}に使われているかを調べてみましょう。わたしたちの家とくらべてたくさん^{しら}のじゃ口があることがわかります。

学校では1年間にどのくらいの水が使われているのでしょうか。

小学校の水道使用量^{し ようりょう} (令和4年4月～令和5年3月)すみよし
住吉小学校

月	4・5	6・7	8・9	10・11	12・1	2・3	合計
水量 (m)	265	1,624	754	509	304	353	3,809
料金 (万円)	11	26	16	13	11	12	89

ちゅうおう
中央小学校

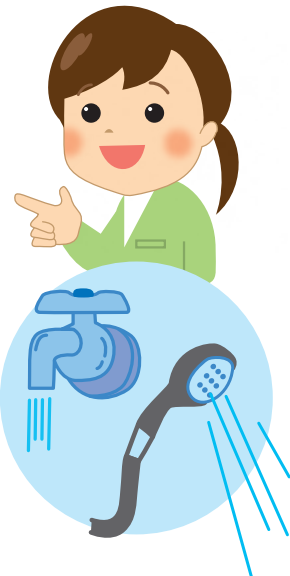
月	4・5	6・7	8・9	10・11	12・1	2・3	合計
水量 (m)	556	2,908	1,446	666	727	757	7,060
料金 (万円)	15	42	25	16	17	17	132

じきょう
自彊小学校

月	4・5	6・7	8・9	10・11	12・1	2・3	合計
水量 (m)	538	2,055	602	617	587	509	4,908
料金 (万円)	15	33	16	16	15	15	110

※m^{リットル}は立方メートルと読む (吉田町役場上下水道課調べ)

学校の使用量を見るとどんなことがわかるかな。

か てい
家庭の水道使用量 (令和4年4月～令和5年3月)

月	4・5	6・7	8・9	10・11	12・1	2・3	合計
水量 (m)	40	40	39	40	39	40	238
料金 (円)	5,852	5,852	5,735	5,852	5,735	5,852	34,878

※m^{リットル}は立方メートルと読む (吉田町役場上下水道課調べ)

(2) 吉田町の水はどこから

①吉田町の水^{すいげん}源

全国的^{ぜんこくてき}に、地下水・わき水を水源としているのは20パーセント弱^{じやく}ですが、静岡県内^{しずおかけん}では50パーセントをこえています。

吉田町の水道はすべて、地下水が水源となっています。これは、吉田町が大井川のすぐ横^{よこ}で、地下^{なご}を流れるきれいな水にめぐまれた^{ところ}所にあるからです。

地下100メートルより深い^{ふか}所まで井戸^{いど}をほって水をくみ上げています。水源は全部^{ぜんぶ}で6か所^{しよ}あります。

全部の水^{すい}源から1日に13,000立方メートル(学校の大プールのおよそ50ぱい分)もくみ上げられています。



水源のポンプ

吉田町の水道使用量

	R2	R3	R4
一日平均使用量 (m ³) ^{へいさん}	11,320	11,207	11,138
一日一人平均使用量 (L)	353	353	351

※m³は立方メートルと読む

(令和5年版 吉田町統計要覧)

浄水^{じょうすい}や配水^{はいすい}のためにしせつで使われる年間の費用^{ひよう}

	R2	R3	R4
費用 (万円)	10,301	10,344	10,703

(吉田町役場上下水道課調べ)

おく ②水を送る

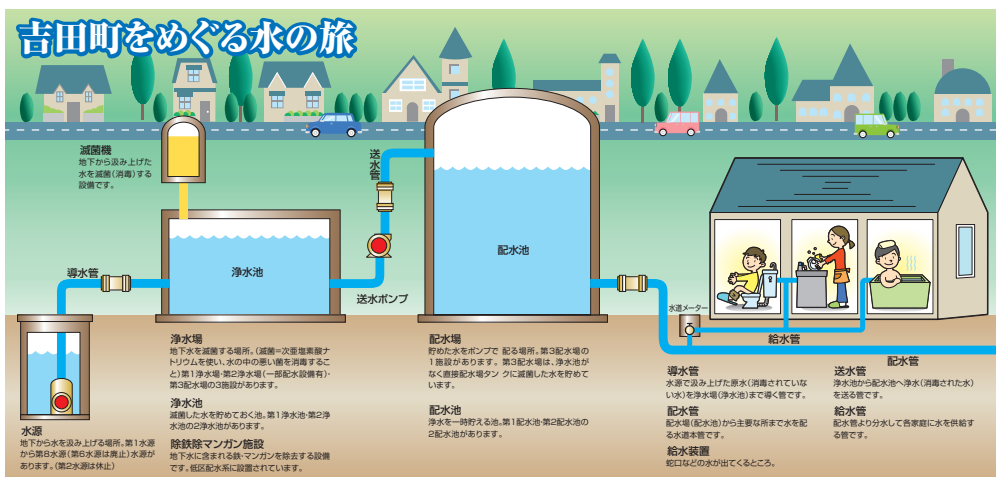
6つの水源からくみ上げた水は、どのようにしてわたしたちの所まで来るのでしょうか。

第1・第3水源と第8水源の水は、第1浄水場に送られます。そして、小山城の西にある第1配水池に送られ、そこから住吉・川尻・片岡・牧之原市細江に送られています。

第4・第5水源の水は、第2浄水場に送られます。そして、リサイクルセンターの東にある第2配水池に送られ、そこから神戸・大幡・牧之原市坂部・坂口に送られています。

第7水源の水は、第3配水場に送られ、そこから川尻・住吉に送られています。

※「配水池」と「配水場」のちがいは、下の資料にのっています。



※第6水源は昭和62(1987)年3月から使い始めましたが、水質が悪化したため、平成5(1993)年3月に使用をやめました。



1 第1水源



1 第1配水池



2 第2配水池



3 第3配水池



2 第2水源(休止中)



3 第3水源



4 第4水源



5 第5水源



7 第7水源



8 第8水源



上下水道課の職員

町のみなさんが、いつでもきれいな水が飲めるようにわたしたちは、つねに管理しています。水は、かぎりある資源です。みなさんも大切に使ってください。

③浄水場と配水池

浄水場は、地下からくみ上げた水を飲める水にするための施設です。

浄水場に送られてきた水は、薬（次亜塩素酸ナトリウム）を入れ消毒し、ためておきます。また、コンピュータを使って、くみ上げる水の量や送る水の量をいつも調べています。わたしたちがいつでもおいしい水を飲めるように管理しています。

きれいになった水は、配水池へ送ってためておき、各家庭へとどけられます。

また、配水池は、吉田町の中の高いところに作られています。これは、「水が高いところから低いところへ流れる」という自然の力を利用しているからです。

第3配水場は、平地にあるため、ポンプを使って送っています。



第1浄水場



浄水場のコントロールパネル
(現在、パソコン画面に状況を表示)

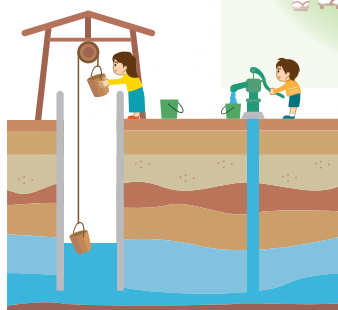


滅菌設備

(3) 水道のひろがり

^{むかし}昔から吉田町ではきれいな水が地下を流れ、また、地下水がわき出ているところもありました。それぞれの家に井戸があって水をくみ上げていました。今でも、井戸の水を使っている家もあります。吉田町は水にたいへんめぐまれたところですが、地下水といってもかぎりのある資源です。大切に使いつづけていかなければなりません。

昔使われていた
井戸の様子



井戸のしくみ

じゃ口をしめわすれによる水もれが多くあります。みなさん、水道を使ったあとはしっかりじゃ口をしめてください。



昔使われていた井戸



手おしポンプ

(4) 下水のゆくえ

わたしたちが使ったあとの水は、どうなっているのでしょうか。よごれた水の一部は、そのまま近くのみぞに流されています。その水は川から海へと流され、川や海がよごれる原因となっているのです。昔は大幡川や坂口谷川で泳いでいたようです。魚もたくさんいたようです。昔のようなきれいな川や海にするために、使ったあとの水のことを考えなければなりません。

吉田町では、「浄化センター」という下水処理施設を住吉の新田地区につくり、平成7年から使い始めました。そこでは、よごれた水をきれいにしてから川に流すようにしています。



令和4年度

下水処理施設でかかった年間の処理費用
1億689万4千円

(吉田町役場上下水道課調べ)

(※消費税抜き金額)

下水道処理量 (1日平均処理量) 2,459m³

(1日1人平均処理量) 292.1L

(令和5年版 吉田町統計要覧)

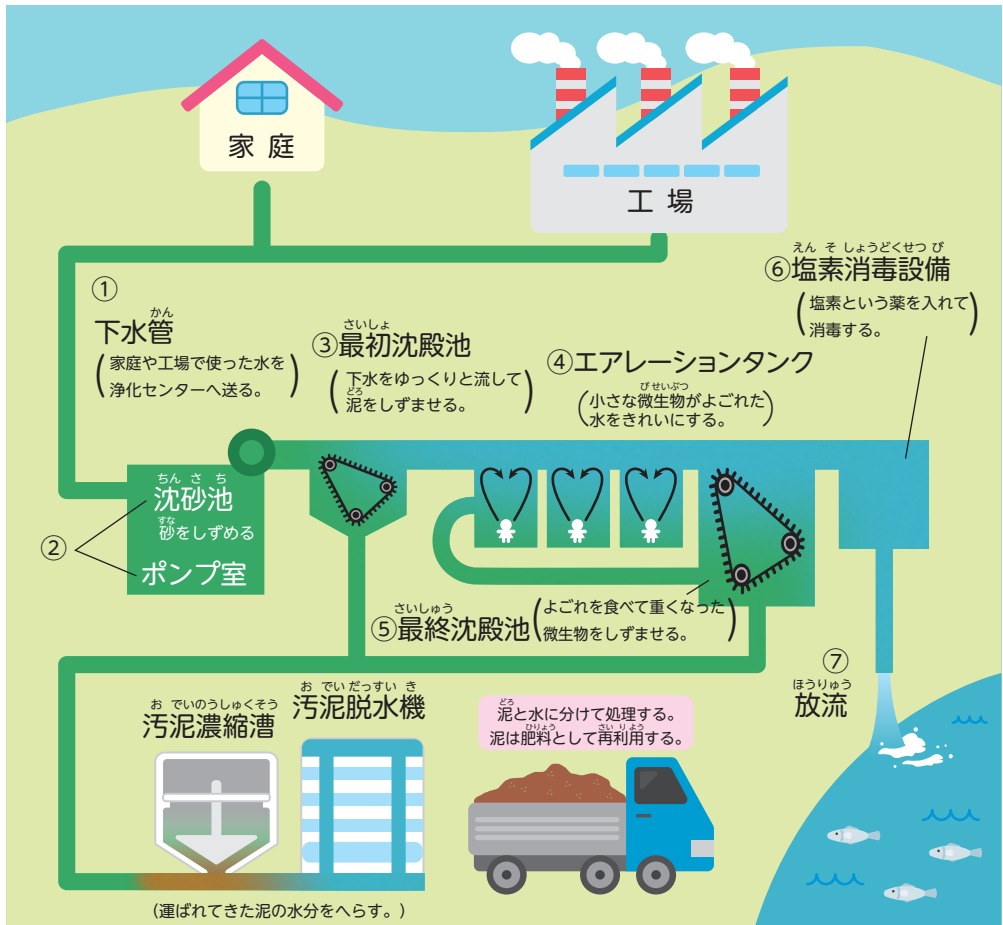
※m³は立方メートルと読む。

下水にごみや油などを流さないようにみなさんも協力してください。

一般家庭のお風呂一杯分ですよ。



下水処理のしくみ



こんなにきれいになります



よごれた水



きれいにしているとちゅうの水



きれいになった水

2 ごみはどこへ

教室や家から出されるごみは、どのように処理しゅりされているのでしょうか。吉田町のごみのゆくえしらについて調べてみましょう。

(1) 「ごみ収集カレンダー」を見て

吉田町では、どの家にも、「ごみ収集カレンダー」が置かれています。このカレンダーからどんなことがわかりますか。

2023年度 ごみ収集カレンダー

可燃物は、吉田町牧之原市広域施設組合指定の「燃えるごみ専用家庭用指定袋」で出してください。資源物は、「中身の見える袋」で出してください。

分別区分	ごみの出し方
可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・缶ごみ、瓶ごみ ・食品類は、水を含めてください。 ・資源物は、中身の見える袋に入れてください。 ・スプレー缶は、穴を開けてください。
資源物	<ul style="list-style-type: none"> ・紙にマフラーは、裏に入れてください。 ・中身の見える袋に入れてください。 ・資源物は、中身の見える袋に入れてください。 ・紙にマフラーは、裏に入れてください。 ・裏に入らぬ袋に入れてください。
資源物	<ul style="list-style-type: none"> ・空き缶、空き瓶 ・ペットボトル ・紙類 ・プラスチック類 ・ガラス類 ・家電品 ・その他
資源物	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル ・紙類 ・プラスチック類 ・ガラス類 ・家電品 ・その他
資源物	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル ・紙類 ・プラスチック類 ・ガラス類 ・家電品 ・その他
資源物	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル ・紙類 ・プラスチック類 ・ガラス類 ・家電品 ・その他

収集するごみは一般家庭のものだけです。

可燃物 収集日は **水・土** 曜日です

プラスチック類 収集日は **月** 曜日です

4月～9月の収集日

分別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
可燃物	金 7	9(火)	2	7	4	1
資源物	金 21	19	16	21	18	15
ペットボトル	金 14	28	12	26	9	23
土・日曜日の	土 1	15	6	20	3	17
投入受付日	日 9	23	14	28	11	25
土・日曜日の	土 1	15	6	20	3	17
投入受付日	日 9	23	14	28	11	25

10月～3月の収集日

分別区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
可燃物	金 6	2(木)	1	5	2	1
資源物	金 20	17	15	19	16	15
ペットボトル	金 13	27	10	24	8	22
土・日曜日の	土 7	21	4	18	2	16
投入受付日	日 8	22	12	26	10	24
土・日曜日の	土 7	21	4	18	2	16
投入受付日	日 8	22	12	26	10	24

北区(神戸・大幡)地区

直接搬入する場合

搬入できる時間

月曜日～金曜日 8:30～12:00
13:00～16:00

土曜日(第1・3) 8:30～12:00

日曜日(第2・4) 8:30～12:00
13:00～15:00

搬入時に「住所」「氏名」「ごみの種類」を申告してください。

祝日・振替休日・年末年始(12月29日から1月3日)は、清掃センター・リサイクルセンターへ搬入できません。

※年末最終受付は、12月28日(木)になります。

搬入先

可燃物 → 清掃センター(牧之原市江崎6664番地3)

資源物 → リサイクルセンター(牧之原市東原1615番地3)

※両センターへ搬入する際は、左表の分別区分ごとに分別して、搬入してください。両センターへ搬入はセンターへ搬入指定事項、両センターへ搬入指定事項を記載してください。

処理手数料

一般家庭ごみ 10kgまでごとに51円

事業所、事業系ごみ 10kgまでごとに156円

※計量による異状はれた多量の10kg未満は切捨てとなります。

相次ごみ

搬入できないものや解体を必要とするもの(ベッド・ソファ・マットレス等)もありますので、分別・搬入方法等不明な場合は事前に清掃センター又はリサイクルセンターへご連絡ください。

安全5項目(コンクリートブロック瓦・レンガが乗積きの危険)

コンクリートブロック・瓦・レンガが乗積きの危険の処分については、吉田町役場都市環境課へご連絡ください。

※自然物(石・土等)は搬入できません。

問合せ先

清掃センター 0548-24-0530

リサイクルセンター 0548-29-0425

吉田町役場都市環境課 0548-33-2102

吉田町牧之原市広域施設組合ホームページアドレス
<http://www.yoshida-makinohara-kouiki.jp/>



このカレンダーを見てごみを出さんだね。

このカレンダーには英語やポルトガル語、中国語、ベトナム語、スペイン語で書いたものもあるんだよ。



ごみ収集カレンダーの詳細はこちら

(2) 「ごみステーション」へ

ごみを集める場所を「ごみステーション」とよんでいます。ごみをごみステーションへ出すときは、どんなことに気をつけたらいいのでしょうか。学校のごみ置き場ばを見てもいろいろな種類しゅるいに分けてあるのがわかります。ごみステーションはどうでしょうか。また、ごみを出したいときは、いつでも出せるのでしょうか。

吉田町の「ごみステーション」の数

地 区	数
北 区 コ ー ス	182か所
片 岡 コ ー ス	122か所
川 尻 コ ー ス	155か所
住 吉 東 コ ー ス	139か所
住 吉 西 コ ー ス	151か所
学 校 な ど	24か所
合 計	773か所

令和5年度調べ (吉田町牧之原市広域施設組合清掃センター)

たくさんのごみステーションがあるね。ぼくの家うちの近くにもあるかな。



中央小の近くのごみステーション



出されたごみは、いつ、だれが集めていくのかしら。



(3) なが ごみの処理の流れ

ごみステーションに出されたごみは、収集車で集めていきます。



ごみステーション



ごみを集めている人

収集車で集められたごみは、牧之原市細江にある清掃センターや牧之原市坂部にあるリサイクルセンターへ運ばれていきます。



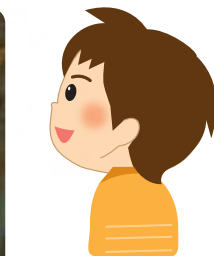
せいそう
清掃センター



ごみをごみピットへ投入するところ



ごみのもえ方をかんしする部屋



ごみピットの
中の様子

清掃センターやリサイクルセンターへ運ばれたごみは、どのように処理されるのでしょうか。

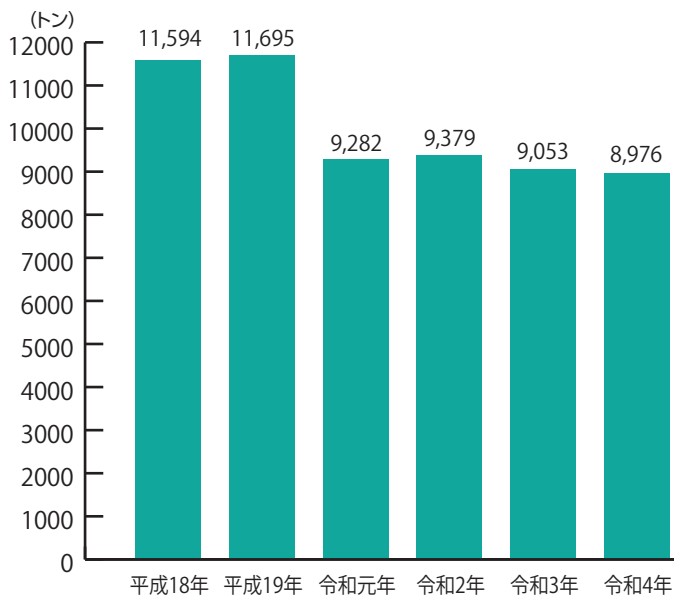


3R (Reduce:リデュース、Reuse:リユース、Recycle:リサイクル) という考え方

3R(スリーアール)は、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称そうしやうです。Reduce(リデュース)は、むだなごみの量りやうをできるだけ少なくすることです。Reuse(リユース)は、一度使ったものをいちどつかごみにしないで何度も使うことです。Recycle(リサイクル)は、使い終わったものをもう一度資源しげんにもどして製品せいひんを作ることです。

清掃センターやリサイクルセンターへもちこまれる吉田町のごみの量のうつり変わり

●ごみ収集量 令和5年版吉田町統計要覧



吉田町から出るごみの量がへってきたのはどうしてだろう。



清掃センターで働く職員の願い

令和4年度に吉田町から出たごみの量は、平成19年度と比べて、約2,700トンへっています。

清掃センターでは、体によくない物質が出ないようにしながら、もやせるごみを処理しています。もやせないごみや、水を多くふくんだ生ごみがまざっていると、こうした処理やごみの収集がしづらくなってしまいます。

リサイクルセンターでは、集まったごみを分別し、再利用(リサイクル)する各会社へ運んでいます。資源となるものを上手に再利用することで、大切な資源を節約することができます。そのために、ごみは材料ごとに正しく分別しなくてはなりません。これは、とても大切で、手間のかかる作業です。

このようなことから、確実に、安全にごみを処理したり、リサイクルを進めたりするためには、みなさんの協力が欠かせません。これからも、ごみの量をへらし、ごみを出すきまりを守るようにしてください。



(4) ごみが生まれかわる

ごみをへらしたり、資源のむだ使いを少なくするためには、資源の再利用（リサイクル）が大切です。

わたしたちができることはどんなことでしょうか。



資源回収



ボトルキャップ回収



アルミかん回収

この他に、わたしたちの身近なところでどんなリサイクルをしているのかしら？



●ごみ処理のうつり変わり

年	おもなことがら
昔	家の庭で焼いたり、うめたりしてごみを処理していた。
昭和43年	吉田町と榛原町で施設組合をつくる。
44年	2町の共同で、ごみ焼きゃく場をつくり始める。
45年	焼きゃく場ができる。運転をはじめ、ごみの収集が始まる。
51年	新しい焼きゃくろができる。 分別収集を始める。
59年	電気集じん器（けむりをきれいにする機械）ができる。
平成7年	フロンガスの回収を始める。
11年	新しい清掃センターができる。
20年	吉田町のごみ処理の計画ができる。（ごみ処理料金・分別ルールの見直しなど）
28年	新しいリサイクルセンターができる